

平成 30 年度 学術資料整備委員会活動経過報告

I. 会議等の開催状況

第 1 回 平成 30 年 10 月 19 日（金） 於：神戸大学百年記念館

< 報告事項 >

1. 平成 30 年度事業計画について
2. 国立大学図書館協会シンポジウムについて
3. 各 WG の平成 30 年度の活動について
 - 電子ジャーナル WG
 - デジタルアーカイブ WG
 - シェアード・プリント WG
4. 理事会付託事項に関する委員長館の打ち合わせ等を踏まえた対応について
5. その他

< 審議事項 >

1. 学術資料整備委員会活動経過報告（中間報告）について
2. 国立大学図書館協会ビジョン推進にかかる事業（平成 30 年度下半期）の募集について
3. その他

II. 活動内容

1. 平成 30 年度事業計画の策定

- 1) 国立大学図書館として利用者に提供すべき学術情報資源を適切に整備し、利用環境を構築するために、調査・企画などを実施する。

2) 活動計画／重点事項

○電子ジャーナルに関する検討

➤ 新たな契約のあり方の探求

電子ジャーナルの新たな契約のあり方を、オープンアクセス委員会や JUSTICE 等と連携しながら、引き続き探求する。

- ✓ （APC） APC について、JUSTICE 等と連携して各国立大学等における実態把握や APC 把握方法の事例を調査する。また、オフセット契約のあり方の検討にも着手する。

➤ 財源確保と広報の検討

効果的な財源確保の方策や広報活動について検討・実施する。

- ✓ （財源確保） 現在の購読モデルが継続される間は、新たな財源の要望書の意義や効果などを検討する。
- ✓ （広報） 図書館関連団体のみではインパクトが限定的であるため、研究者コミュニティとの連携協力の可能性を探る。

○デジタルアーカイブに関する検討

「大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて」をテーマとして10月19日（金）に平成30年度の国立大学図書館協会シンポジウムを開催する。また、前年度に実施したWGメンバー所属機関の調査結果やシンポジウムの成果を基に、利活用に関する課題と取組事例を整理し、報告書の作成に着手する。

○シェアード・プリントに関する検討

シェアード・プリントについて、共同保存書庫の設置、ILL業務の効率化等によるモデル地区内での資料共有の可能性を検討する

○上記のほか取り組むべき課題の再確認、及び、各課題の優先度、委員会としての取り組み方に係る検討

2. 各WGの活動

1) 電子ジャーナルWG

別紙のとおり（省略）

2) デジタルアーカイブWG

- ・平成30年10月19日に平成30年度国立大学図書館協会シンポジウム「大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて」を神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホールで開催した。
- ・WGメンバーの所属機関を対象として平成29年度に行ったアンケート結果を踏まえ、平成31年3月に利活用のための課題と方策をまとめた報告書「大学図書館におけるデジタルアーカイブの利活用に向けて」の原稿を執筆した。同報告書には、特色ある取組み、先進的な取組みを実施している13機関（国大図協会員館以外の3機関を含む）に記入してもらった調査シートを取組事例として掲載し、デジタルアーカイブ実務担当者に参考となるものを心掛けた。

3) シェアード・プリントWG

平成30年度には、東海北陸地区の大学間学術資源活用事業WGと連携して、11月16日にWG打合せとワークショップを開催した。詳細は次のとおり。

- ・共同分担保存について、各大学の意向と資料タイプごとの所蔵状況を調査・分析し、共同分担保存実施のためのシミュレーションを行いWGで報告・協議した。
- ・昨年度に引き続き、地区共同保存書庫の建設を想定して、設置後の運営に係る課題（①概算要求の内容の精査、②資料の収蔵及び管理方法、③ILL、④経費、⑤運営）を整理し、対応を検討した結果をとりまとめた。
- ・共同保存書庫での資料管理検討に関連して、「オープンソースの図書館システム Next-L Enjuを知る」というテーマでワークショップを開催した。

- ・共同分担保存および共同保存書庫の運用において、ILLの業務やシステムを見直して効率化することにより、地区内大学間での文献共有・利用のあり方を改善する方策について協議した。

3. 国立大学図書館協会シンポジウムの開催

開催日時 平成30年10月19日(金) 13:00-17:00
開催場所 神戸大学百年記念館(神大会館)六甲ホール
テーマ 大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて
実施報告 大学図書館職員を中心に研究者やデジタルアーカイブ関係者など145名が参加し、講演、事例報告、パネルディスカッションの各プログラムを通して、デジタルアーカイブの動きを大きな枠組みで理解し、今後の活用に向けて考える機会とした。また関連企業による展示ブースも開設し、好評を得た。

III. 委員構成

委員長	：森 仁志	名古屋大学附属図書館長
副委員長	：寺本 康俊	広島大学図書館長(平成31年3月31日まで)
	古澤 修一	広島大学図書館長(平成31年4月1日から)
委員	：綾部 輝幸	東京学芸大学教育研究支援部学術情報課長 (平成31年3月31日まで)
		千葉大学学術コンテンツ課長(平成31年4月1日から)
	篠栗 伸一	富山大学学術情報部図書館情報課長(平成31年3月31日まで) 和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター図書館学術情報課長 (平成31年4月1日から)
	森 いづみ	信州大学附属図書館管理課長
	大山 努	静岡大学学術情報部図書館情報課長(平成31年3月31日まで) 大阪大学附属図書館企画課長(平成31年3月31日まで)
	木下 聡	名古屋大学附属図書館事務部長(平成31年3月31日まで)
	竹谷 喜美江	名古屋大学附属図書館事務部長(平成31年4月1日から)
	北村 照夫	神戸大学附属図書館事務部長(平成31年3月31日まで) 大阪大学附属図書館事務部長(平成31年4月1日から)
	郷原 正好	広島大学図書館部長
	瓜生 照久	九州大学附属図書館図書館企画課長(平成31年3月31日まで) 九州大学附属図書館事務部長(平成31年4月1日から)
事務局	竹谷 喜美江	名古屋大学附属図書館事務部次長(情報管理課長兼務) (平成31年3月31日まで)
	奥村 小百合	名古屋大学附属図書館情報管理課長(平成31年4月1日から)
	林 和宏	名古屋大学附属図書館情報管理課専門職員